

## 10. 利活用の現況

### 1) イベント等の開催状況

盛岡城跡公園内では、盛岡さくらまつり（春）、いしがきミュージックフェスティバル（夏）、山車大絵巻パレード（秋）、もりおか雪あかり（冬）等、四季を通じてイベントが開催されている。

盛岡市街の中心部に位置することから、「チャグチャグ馬コ」、「盛岡さんさ踊り」、「盛岡七夕祭り」など近接する地区、地域で行われる祭りやイベントも多く、盛岡城跡公園を中心として、周辺と一体となったイベントが行われている。

#### ①定期的に開催されているイベント等

開催時期	イベント等名称	事業主体
1月	消防出初式	盛岡市
	岩手県警察本部初点検	岩手県警察本部
1月～3月	盛岡城跡公園ライトアップ（平成22年度は10月～2月）	盛岡商工会議所
2月	もりおか雪あかり	もりおか雪あかり実行委員会
4月	もりおか環境緑花まつり	もりおか環境緑化まつり実行委員会
4月～5月	盛岡さくらまつり	盛岡市
5月	メーデー	日本労働組合総連合会岩手連合会 いわて労連
	鯉のぼり子どもの集い	盛岡世代にかける橋
	校内運動会宣伝パレード	岩手県立盛岡第一高等学校
8月	ツリークライミング	ツリークライミング®クラブやまねこ
9月	いしがきミュージックフェスティバル	いしがきミュージックフェスティバル 実行委員会
	盛岡山車大絵巻パレード	盛岡市観光コンベンション協会
	交通安全パネル展示会	岩手県屋外公告美術業協同組合
10月	いわて健康ウォーク	岩手県，盛岡市，岩手日報社
	盛岡市交通安全指導隊観閲式	盛岡市
11月	盛岡市農業まつり	盛岡市

#### ②その他活用状況

##### ア. 一般市民・団体による利活用

さんさ踊り練習，写真撮影会，自然観察会，演奏会，ウォーキング，絵画教室，歴史散策

##### イ. 学校による活用

修学旅行及び学習旅行，クラブ活動（陸上競技，マーチングバンド等），授業（写生，遠足，社会科見学など）

ウ．ボランティア・寄付活動等

清掃活動（企業・団体）、施設等補修（団体）、トイレ手すり・表示板・ベンチ、樹木等の寄附（企業・団体）

エ．その他

映画・テレビ番組等収録

## 2) アンケート調査結果

### ①市民アンケート調査（平成 22 年実施）

平成 22 年度（2011）に盛岡城跡の歴史的魅力と、今後のありかたを検討するための基礎的資料とするために、「盛岡城跡公園とその周辺地域の将来像について」をテーマに市民アンケートを行った。アンケート結果の概要は以下の通りである。

#### a. アンケート調査関係者の内訳

##### ■性別構成

男性 47.0%，女性 53.0%の比率となった。

##### ■年齢構成

20代 8.0%，30代 14.1%，40代 16.5%，50代 20.0%，60代 21.6%，70歳以上が 19.8%の比率であった。

##### ■居住歴構成

調査回答者の居住年数は、5年未満が 8.1%，5年以上 10年未満が 5.4%，10年以上が 86.3%の比率であった。

#### b. 盛岡城跡公園の利用頻度

「1年に1回くらい」が 26.3%，「半年に1回くらい」が 23.3%，「2～3カ月に1回」が 9.7%，「1カ月に1回くらい」が 4.5%，「ほぼ毎日」が 0.8%で、これらを合わせると 64.6%となった。一方、「ほとんど利用しない」と回答した人は、34.8%であった。

#### c. 盛岡城跡公園の利用目的

「花見や紅葉を楽しむため」が 73.2%で最も高く、次いで「散歩のため」が 35.5%，「イベントのため」が 25.5%，「石垣や歌碑などの歴史的なものを見るため」が 11.4%，「観光案内のため」が 10.7%，「その他」が 7.8%，「清掃などのボランティア活動のため」が 1.2%となった（複数回答）。

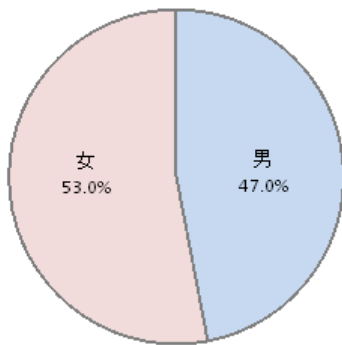
#### d. 盛岡城跡公園を魅力的な場所にするために何が必要か

「シンボルになる建物や門などを復元する」が 41.7%で最も高く、次いで「案内板，ベンチ，トイレなどの設備を整備する」が 32.8%，「堀の清掃や草花，樹木などの環境を整備する」が 32.6%，「イベントの開催数を増やす」が 29.3%，「公園の案内所，おみやげの販売所，飲食の提供場所を設置する」が 22.8%となった。「その他」として、無料駐車場の設置を希望する意見が多かった（複数回答）。

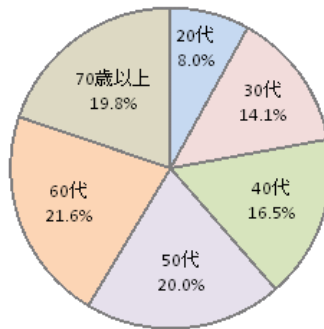
以上の回答を総合すると、盛岡城跡公園の市民の利用形態として、お花見や紅葉見学に年1回または2回程度訪れる人が多く、盛岡城跡公園に求めるものとして、城の歴史的なシンボル性を

高めるとともに、公園および観光地としての快適性をたかめる施設や環境の整備が求められていることがうかがえる。

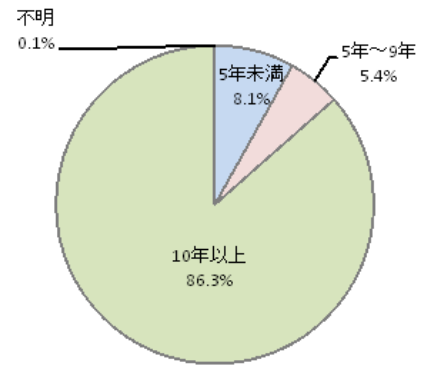
■性別構成



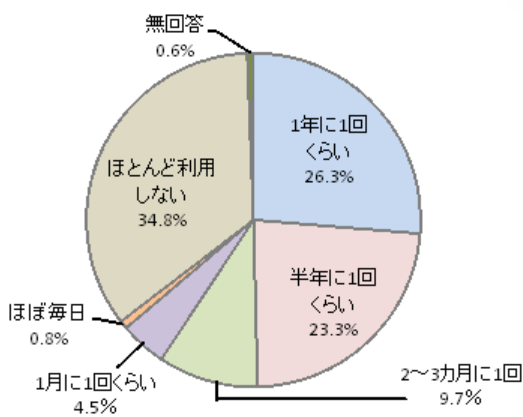
■年齢構成



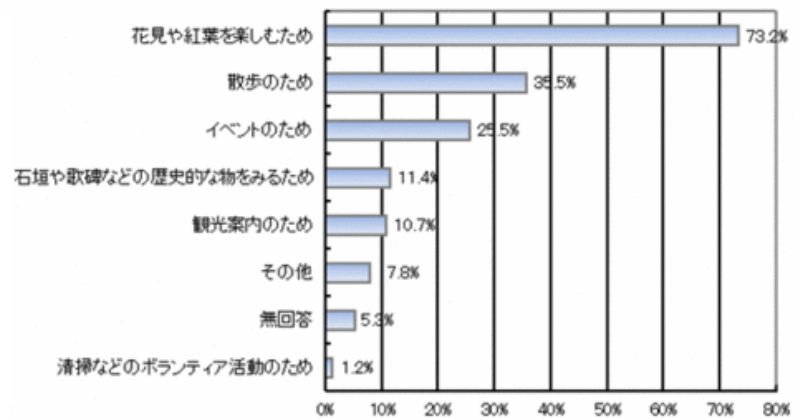
■居住歴構成



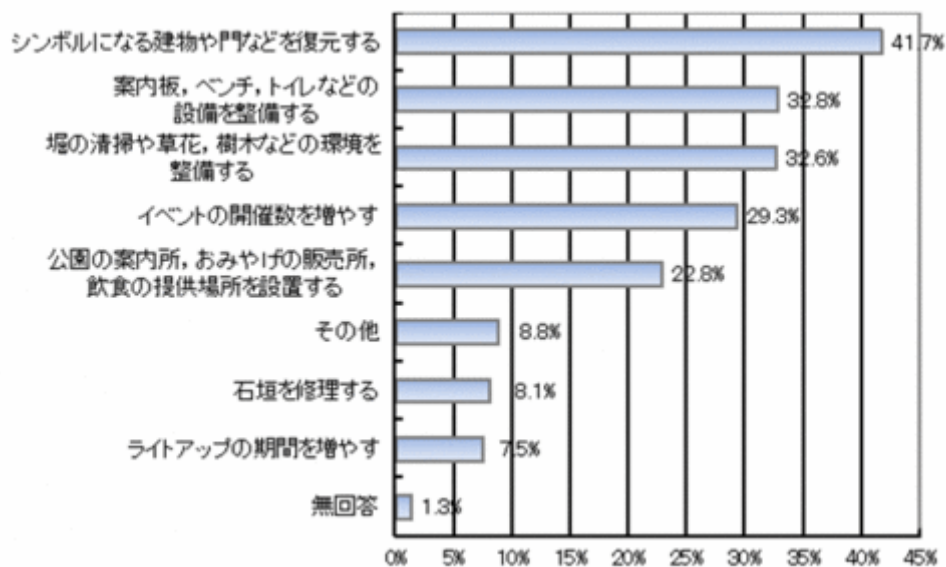
■利用頻度



■利用目的



■盛岡城跡公園を魅力的な場所にするために何が必要か



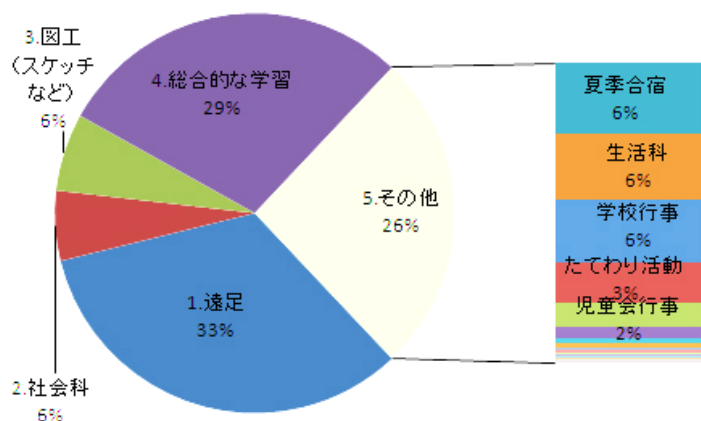
## ②小学生アンケート（平成 24 年実施）

盛岡城跡公園を授業等で活用した実績を有する小学校 5 校の協力を得て、小学校 6 年生の児童 315 人を対象に盛岡城跡についてのアンケートを実施した。結果は以下のとおりである。

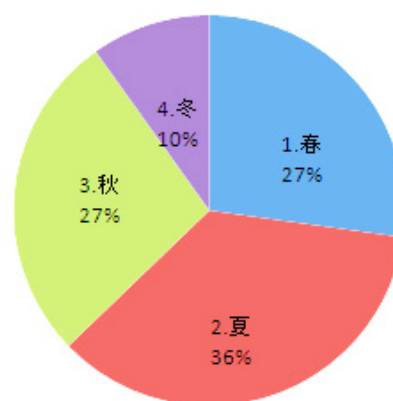
対象者数と回答数・回答率

	対象者数	回答数	回答率
岩手大学教育学部附属小学校	128	126	98.44%
中野小学校	120	117	97.50%
城南小学校	85	84	98.82%
社陵小学校	54	54	100.00%
仁王小学校	56	56	100.00%
合 計	315	311	98.73%

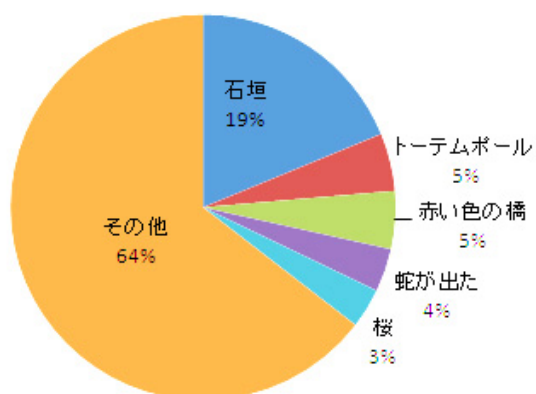
### ■盛岡城跡公園にはどの授業で行きましたか



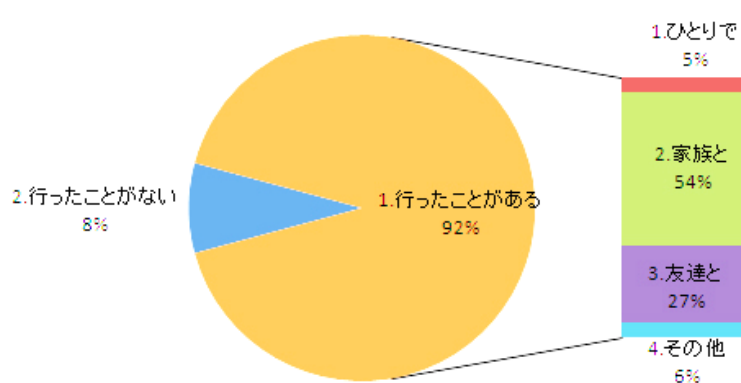
### ■行ったのはいつごろですか



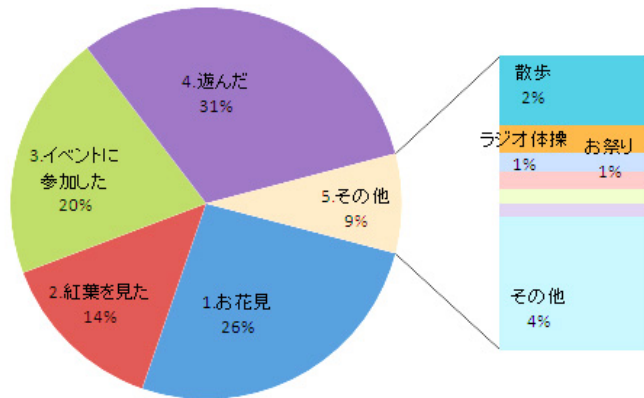
### ■授業で一番印象に残っている場所 やできごとをおしえてください



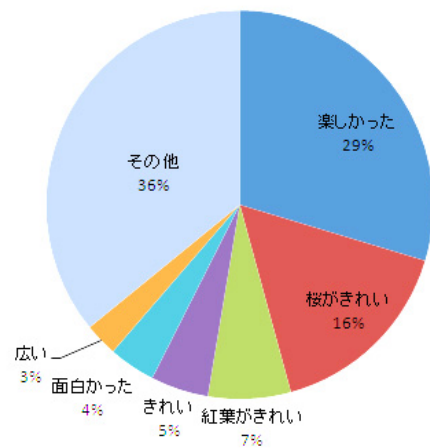
### ■授業以外で行ったことがありますか



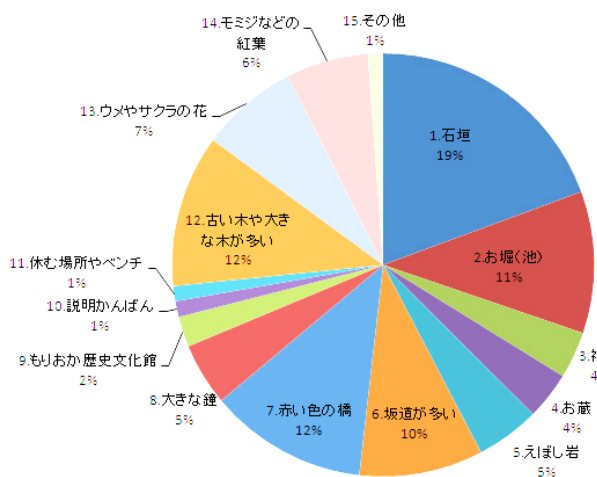
■その時は何をしましたか



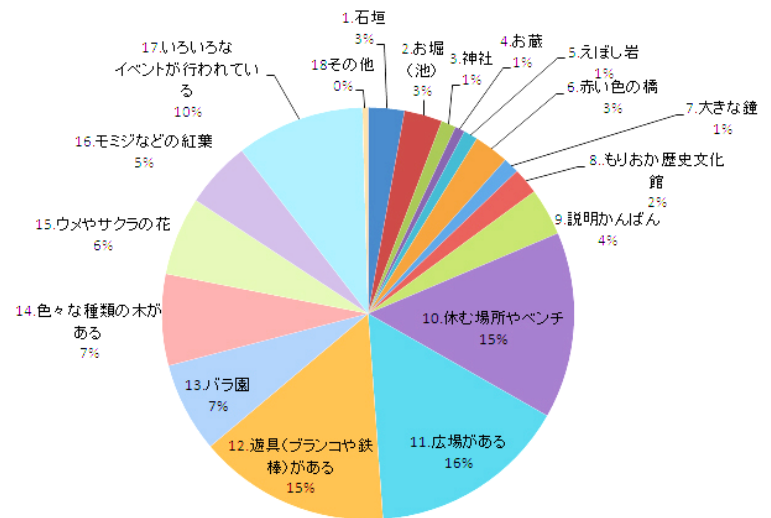
■その時の感想をおしえてください



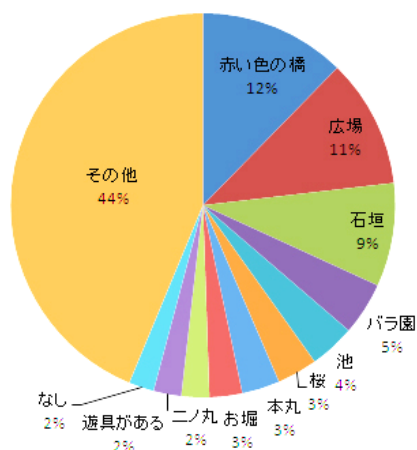
■どのような所がお城だと感じましたか



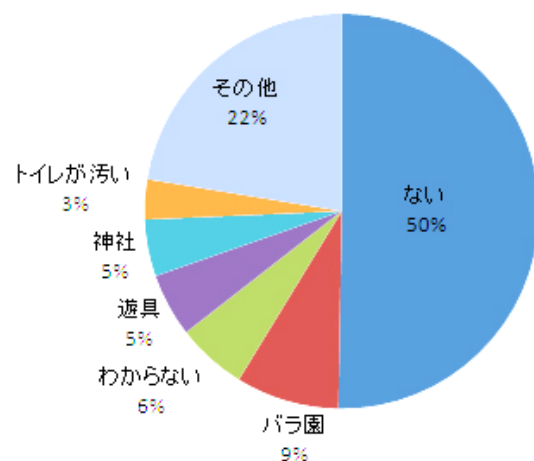
■どのようなところが公園だと感じましたか



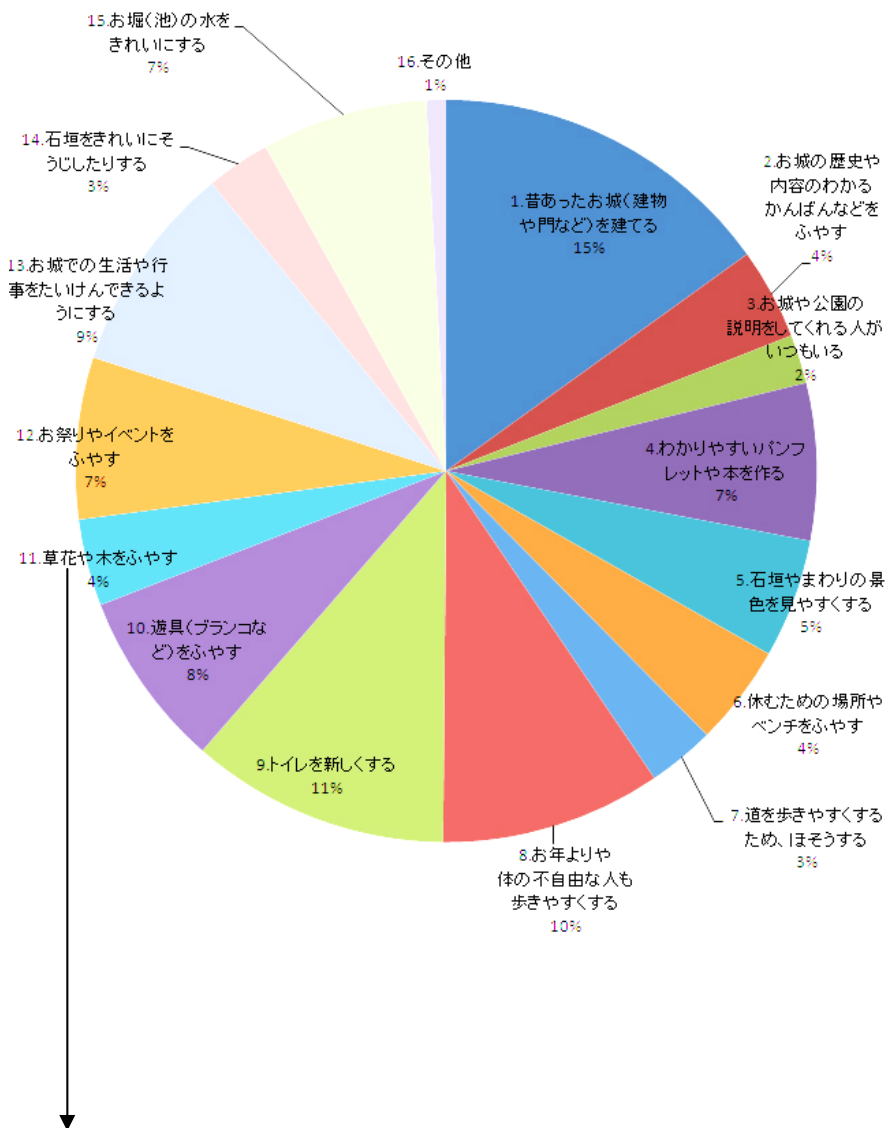
■公園の中であなたが特に気に入っている場所を教えてください



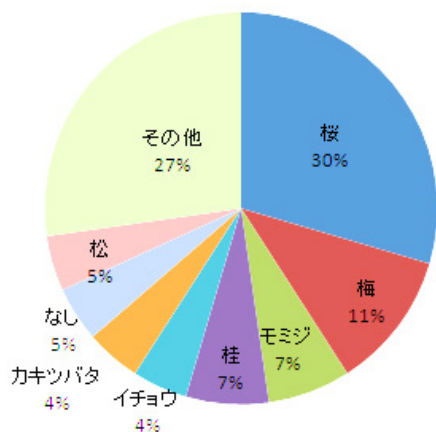
■お城や公園としてふさわしくない場所を教えてください



■盛岡城跡公園にあったらいいなと思うもの、これから取り組んでほしいことについて



ふやしたほうが良いと思う花や木の種類があったら教えてください



## 11. 維持管理・運営の現況

現在、史跡盛岡城跡並びに盛岡城跡公園（岩手公園）を管理する部局は、都市整備部公園みどり課であり、都市公園法及び盛岡市都市公園条例等に基づく対応について所管している。また、文化財保護法に基づく対応等については、教育委員会歴史文化課が所管している。

都市計画上、史跡盛岡城跡の範囲（都市計画道路及び櫻山神境内地の一部を除く）および東側の芝生広場及びもりおか歴史文化館敷地については都市公園に指定されており、公園開設範囲のうちもりおか歴史文化館管理区域を除く範囲については、公園みどり課が指定管理者と業務委託契約を締結し、樹木の剪定、園内の清掃等のほかトイレ等の施設維持管理業務を行っている。

## 12. 史跡整備の現況

### 1) 石垣修理

昭和36年（1961）には、長雨の影響で戦時中に掘られた防空壕が陥没したため、二ノ丸南西部の石垣が崩落、国庫補助を得て修理を実施している。

昭和57年（1982）には、文化庁調査官による現地調査により、腰曲輪南面、本丸北東部、二ノ丸南東部、三ノ丸西側の順で石垣の変位が大きく、修理が急がれるとの診断結果であったことから、改めて石垣全体を精査し、およそ17,500平方メートルにわたる石垣のうち、約5,000平方メートルについて修復する計画を立て、昭和59年（1984）からは第1期整備事業として国庫補助事業により、腰曲輪の石垣修復工事に着手した。

腰曲輪においては、変位が著しい南東部から南側の石垣について実施することとし、南東部の小櫓付近から着手、その後、腰曲輪の南面から南西部にかけて修復をおこない、平成2年度（1990）までに完了している。

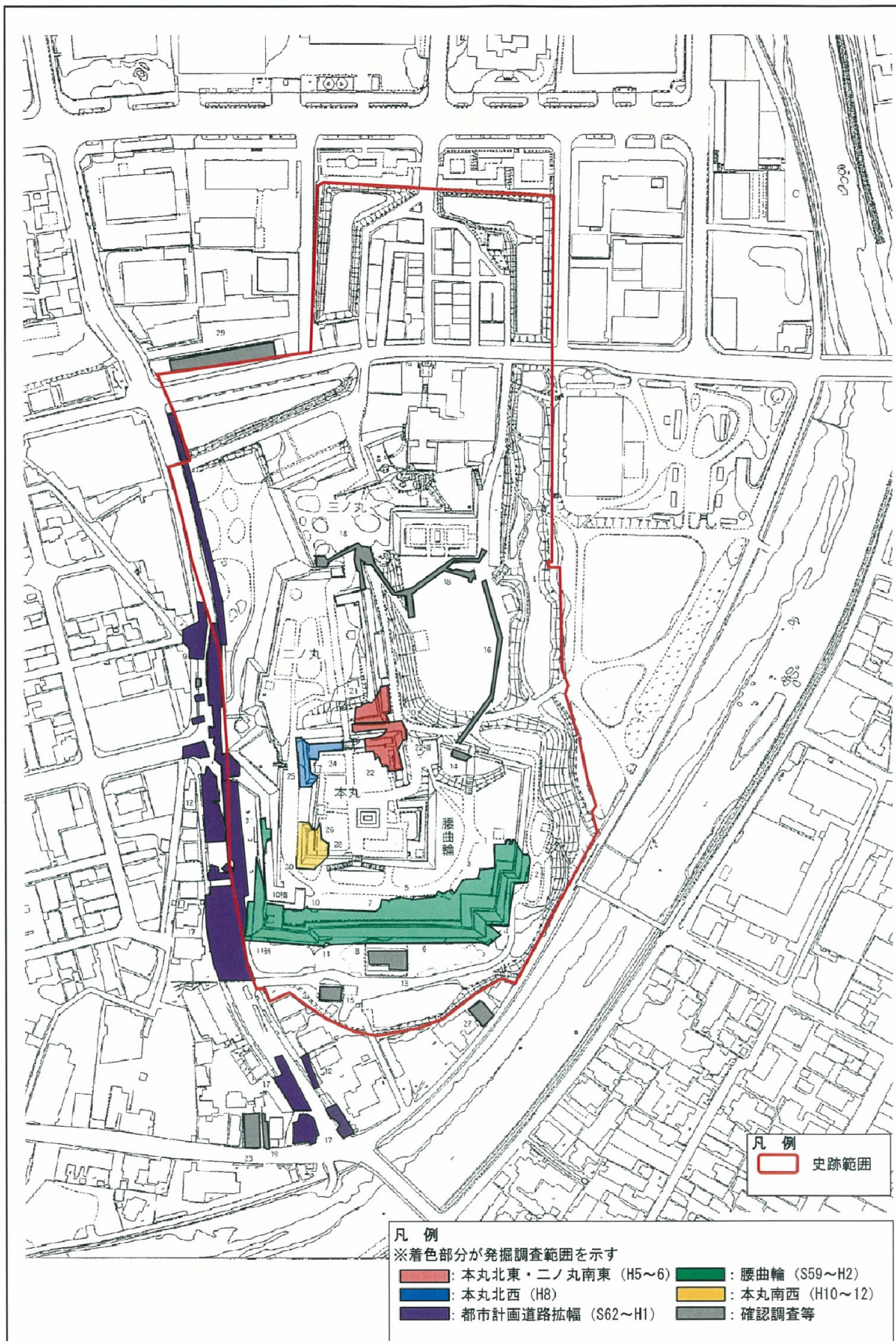
その後、第2期整備事業として、平成3年度（1991）から平成19年度（2006）まで、二ノ丸南東部、本丸北東部、北西部、南西部において修復を実施したほか、平成13年（2001）には吹上坂において、明治期の公園整備の際に構築された石垣が地震により大きく変位したため、緊急修理を実施した。

なお、平成19年度までの事業により、腰曲輪、本丸、二ノ丸の修理対象範囲の全域について修理が終了している。修理にあたっては、可能な限り石垣の旧状を残すことを考慮し、解体範囲等を必要最小限度としたことにより、約3,400平方メートルについて修復を実施、完了した。

### 2) 発掘調査

史跡地内の発掘調査は、石垣修復や公園施設の設置等に伴う史跡現状変更に伴った調査が実施された。

石垣修復に伴う発掘調査については、石垣解体に伴う掘削工事の際に、記録保存を目的とした調査を実施しており、戦国時代の福士氏の不来方城の時期から近世の南部氏による盛岡城築城とその改修の変遷等を確認している。



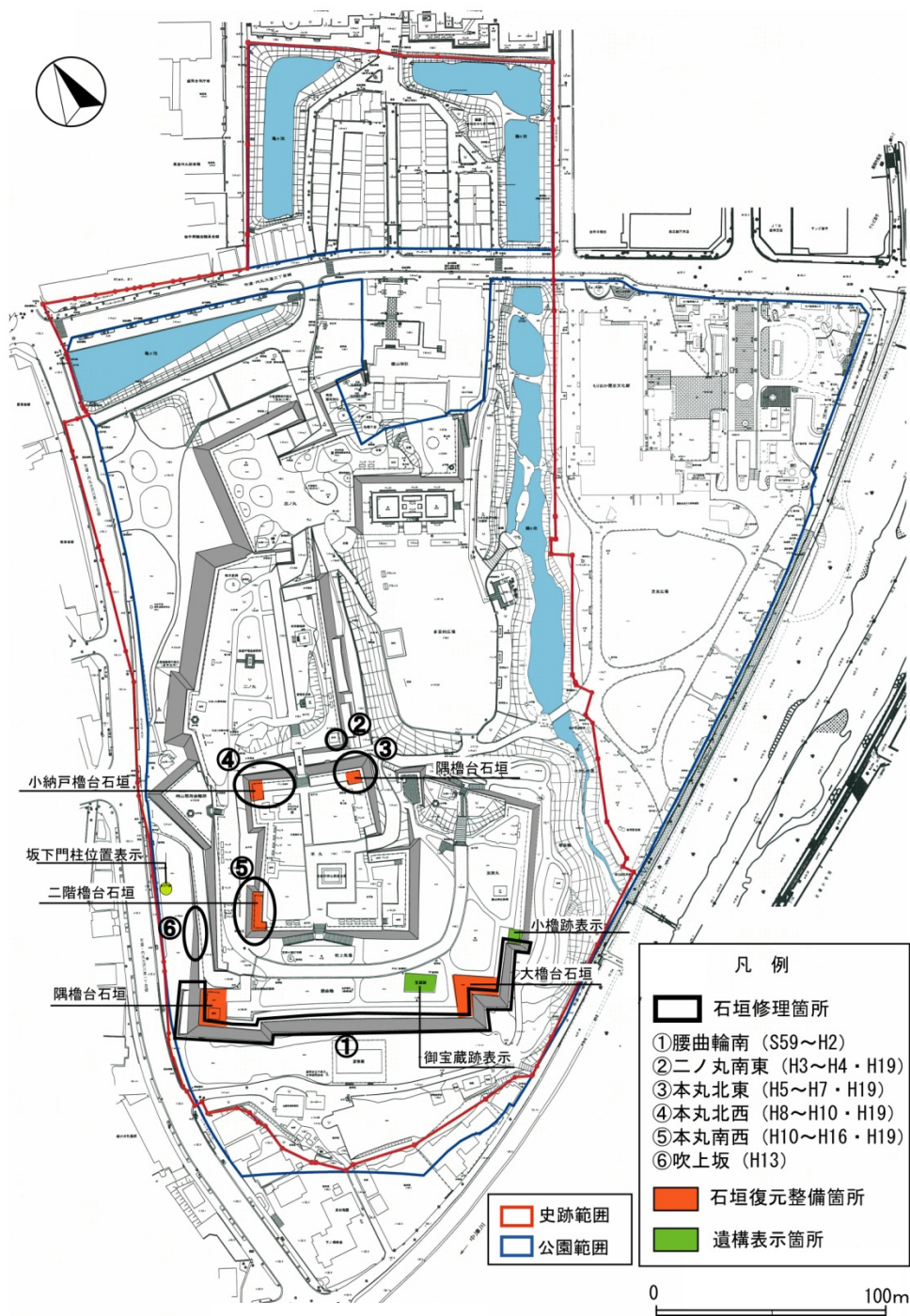
第 25 図 発掘調査実施箇所



### 3) 復元整備等

地上遺構として保全されているものは、石垣（一部公園整備時に改変）及び土塁の一部（下曲輪）、内堀の一部、井戸の一部である。

復元されたものは、本丸北東部隅櫓台石垣、本丸北西部小納戸櫓台石垣、本丸南西部二階櫓台石垣、腰曲輪南東部大櫓台石垣、腰曲輪南西隅櫓台石垣である。また、遺構の平面表示箇所としては、腰曲輪東側の小櫓と御宝蔵跡を芝生の基壇で規模を表示しているほか、吹上坂西側の坂下門（川口門）の柱位置について、歩道脇に柱状に表示している。



第 26 図 整備状況